

はばたけ!

帯広市立大空中学校だより

星と森の大空へ

No.10 令和元年 7月5日発行

～ 学校教育目標 ～

北の文化を拓く

「明るく健康な心身と個性

豊かな英知を育む」

人と人とのかかわり

生活の感性づくりから育みたい

1学期が残すところおよそ2週間あまりとなりました。4月8日の始業式、入学式から始まり、早3ヶ月、子ども達の元気な声と笑顔、はつらつとした様子を感じながら、教育活動が着々と進められてきました。

学校はこれから1学期のまとめの時期となります。特に学習面ではこれまでの学習内容を確実に身につけるため、集中した学習の取組と家庭学習が必要となります。そのために必要なことは、特にこれから始まる暑い夏に向けて、確かな生活習慣を築くことです。いわゆる「規則正しい生活」ということになるのですが、「早寝、早起き、朝ご飯」という言葉に代表されるように、食事と睡眠、加えて整理整頓や挨拶、礼儀などの所作ふるまいが挙げられます。

さて、この「生活習慣」は、「生活の感性づくり」とも言われています。これは豊かな感受性を育てることを指し、たとえば、読書であったり、友達とのかかわりであったり、親子のかかわりであったり、地域の中でのふれあいであったり、社会体験や自然体験などしたりなど、様々なことが挙げられます。しかし様々な関わりは、必ずしも自分にとって心地よいものとは言いきれません。失敗したり、対立したりすること、時にはつらいこと、悲しいことなどにも出会い、その時々で不快な感情であるとか、それを克服してがんばりぬく心であるとか、また失敗による成功への道筋などを学びます。失敗は新しい行動に出ようとしたときの結果ですから、あまり結果だけを捉えてしまって、失敗をとがめたり、非難したりするのでは、新しい事への恐れが生じ、挑戦することに躊躇するようになっていたり、現実から逃避する子が増えてきたりするとも言えます。

今、生徒玄関前のロータリーに石楠花（しゃくなげ）の花がきれいに咲いています。これを見て、みなさんは何を思うでしょう。たとえば、「しゃくなげ、咲いたね」「きれいだね」とお子さんが言ったとき、そばに居たら、何と返してあげるでしょう。一緒に感じ取った感性をともに感じ合うことは、子ども達の気持ちがいそう満たされる素敵な関わりだと思います。子どもが言わないなら、親が自分から言っても良いと思います。

そういえば、昔、小さい我が子を抱きかかえて、通りがかりに見た庭の花を指しながら「おー・はー・な。きれいだね～」と話しかける、笑顔の親子のほほえましい光景を見かけたことがありました。

何かと忙しい毎日で、日常の生活と雑踏の中に紛れてしまい、なかなか子どもと一緒に居る時間がとれなかったとしても、日常、何とはなしに通ってしまふ光景や出来事に、ちょっとだけ踏みとどまって見てみると、違ったものが見えてくるのかも知れません。たとえば、花を見て「今年もきれいに咲いたね」と言って共感してともに感じ合ったりすることもその一つですし、「この花とこの花、同じ色だけど違うよね。」なんていう気づきを伝え合ったり、それは、たとえ一言であっても素敵な関わりだと思うのです。肯定的に受け止めて返してあげることは、「生活の中での感性」として、子どもとのかかわりの中で確かに育まれると思います。

<参考文献> 思いに届く校長の言葉（昌三出版）

校長 黒島 俊一



生徒玄関前に咲くしゃくなげ

帯広市中体連夏季大会主な結果から

6月27日(木)合同陸上
6月28日(金)合同陸上
6月29日(日)合同陸上

どの競技も最後まであきらめず、全力を尽くしてがんばりました。真剣な表情、ほとばしる汗、仲間との声の掛け合い、熱い応援と絆の深まり。自分との戦いに勝ったみなさんのがんばりに勇気と感動をもらいました。拍手！

自然体験学習に行ってきました

帯広市教育委員会が示す帯広の基本理念「ふるさとの風土に学び、人がきらめき人がつながるおびひろの教育」の具体的な取組の一つとして、市教委がバス代等を予算付けして、本市の中学校2年(または1年生)の「自然体験学習」と称した、市内ポロシリ界限地区を中心とした郷土の自然や産業に触れる学習が、長年進められています。

3日の本校の学習では、ポロシリ自然公園などでの学校独自メニューとして、パークゴルフや、空き缶炊飯と焼肉などの炊事体験を楽しみました。

この学習は来年5月の修学旅行の取組にもつながる行事としての意味合いもあるものですが、絶好の日和の中で、2年生の子どもたちは仲間とともに楽しいひとときを過ごしました。



自然体験学習食風景より

1. 合同陸上大会

団体:400Mリレー 準優勝 (佐々木知也 鈴木浩明 大泉拓斗 酒井勇武)

学校総合 準優勝

個人:走り幅跳び 優勝 佐々木友也 4M06
準優勝 酒井 勇武 4M05
3位 大泉 拓斗 3M95

ハンドボール投げ

優勝 佐々木友也 24M22
5位 鈴木 浩明 21M40

800M 準優勝 佐々木友也 2分46秒01

2. 男子バスケットボール

2回戦 対四中 35-70

3. 女子バスケットボール

1回戦 対南町中 62-53 2回戦 対緑園中 52-79

4. 野球(大空・四中合同チーム 吹奏楽部も合同合同実演披露)

2回戦 対南町中 0-4 代表決定戦 対七中・清川中 1-3

5. サッカー

リーグ戦 グループA 2敗2分 順位決定戦 対一中 0-1

6. 女子バドミントン

女子団体ジュニアの部 準優勝

(西田夕璃華 小原希月 杉江穂風 斉藤菜々美 川崎未有 三浦しずく 松浦

未羽)

7. 卓球

団体 男子7位 女子8位

個人 男子 ベスト16 坂 卓成 藤田 琉聖

男子 ベスト32 早坂 瑛大

男子 ベスト64 小野倉太朗 宮本 一成 厚谷 悠雅

村上 義隆

女子 ベスト8 工藤 萌絵 ベスト32 松井 彩月

8. 陸上競技(通信陸上大会)

小玉 哲彰 100メートル 13.66 準決勝進出 200メートル 28.64

阿部 利矩 100メートル 12.46 準決勝進出

200メートル 25.33 準決勝進出

白石 彪 100メートル 13.37 200メートル 27.36

四方 翔大 100メートル 12.89 200メートル 26.45 準決勝進出

いじめ根絶へオリジナル曲創作も

帯広の全小中代表、方策話し合い



いじめや非行の防止につながる取り組みを発表しあう各学校の代表児童・生徒ら

いじめ防止などに向け帯広市内の児童・生徒が意見交換する「小中学生いじめ・非行防止合同サミット」が3日、市役所で開かれ、市内全小中学校の児童会と生徒会の代表40人が方策などを話し合った。市内の教員などをつくる「いじめ・不登校・非行等

いじめ防止などに向け帯広市内の児童・生徒が意見交換する「小中学生いじめ・非行防止合同サミット」が3日、市役所で開かれ、市内全小中学校の児童会と生徒会の代表40人が方策などを話し合った。市内の教員などをつくる「いじめ・不登校・非行等

に関する対策委員会」が毎年開いている。子どもたちは6~9校ずつ五つのグループに分かれ、絆や思いやりなどを育む各校の取り組みを発表した。大空中は「死ぬ」という言葉の根拠をテーマにオリジナル曲を作り全校生徒で歌う取り組みを紹介。他校は「いじめをなくすための具体的な行動」と関心を寄せた。豊成は6年の渡辺有咲さんは「自分の学校でもできそうなことは参考にしたい。他の学校の会長たちと話すのも楽しかった」と話していた。(佐藤諒)

毎年、夏のこの時期と冬の2回、全市の小中学校の代表が一堂に会して、いじめ防止などについての取組の情報交換や交流をする「小中学生いじめ・非行防止合同サミット」が、7月3日市役所にて行われました。

本校からは生徒会長の松井彩月さんが出席し、生徒会で作成したDSDソングの取組紹介や、ドラマ仕立てのいじめ防止ビデオ製作の計画など、堂々とした様子で学校の取組を伝え、各学校の関心を呼んでいました。

7月5日付 北海道新聞より